

事例⑨ 外国府間（宮下）地区

事業区域の農地面積	：	4.1ha
農地バンクを活用した面積	：	3.7ha（90.6％）
機構集積協力金の交付額	：	約100万円

農業用排水路やパイプラインが整備されておらず、耕作放棄地が多くを占めていたが新たに幸手市内で農業参入を目指す果樹農家をと地域のマッチングを支援し、地域内の3.7ha（90.6％）の農地（※うち3.6haが耕作放棄地）を農地バンクを利用して耕作することが決定しました。

また、農地バンク利用率が80％を超えたため機構集積協力金の対象となり、協力金を活用して耕作放棄地の整備を行っていく予定です。

幸手市内で数少ない果樹農家の参入により耕作放棄地の減少や今後の幸手市における新たな特産品の誕生が期待されています。

